

| | |
|----------|--|
| 氏名 | 小島 紀徳(Toshinori KOJIMA) |
| 所属/経歴/資格 | RIMEP 副代表理事／成蹊大学理工学部物質生命理工学科教授を 2018年3月定年退職／工学博士(東京大学)・公害防止管理者 |
| 活動・専門領域 | 化学工学:物とエネルギーの流れを表現し、改善する。 分離工学:物を最小のコスト、エネルギーで高効率に分離する。 材料化学工学:高機能な物質(粉体材料)を効率よく製造する。 反応装置工学:効率がよい、環境に優しい反応装置を設計する。 環境工学:地球規模での最適化を、地域レベルから達成する。 エネルギー工学:再生可能エネルギーへのソフトランディング。 |
| 手法・アプローチ | まず俯瞰し、あるべき技術の方向性を見極める。達成すべき技術を、これまでの様々な装置工学的経験から具体化する。 |
| 最近の活動と今後 | <p>大学在職時には、化学工学分野の学生教育と、化学工学を生かした学生の研究指導を通し、環境・エネルギー分野を中心とした、様々な研究開発を行ってきました。その間、多くの企業の方と、接点を持たせていただきました。</p> <p>定年退職後も、これまで蓄積してきた様々な研究開発実績を生かし、いくつかの企業の方への技術支援は行っておりますが、RIMEP という NPO を、新たな企業支援の窓口としてご活用いただければ幸いです。</p> |
| 実績等 | <p>* 日本エネルギー学会学会賞(学術部門)受賞(平成 17 年度)「エネルギー利用およびこれに伴う環境負荷低減に関わる先駆的・俯瞰的研究」</p> <p>* 日本沙漠学会学会賞(平成 21 年度)「乾燥地の工学的利用と大規模植林による炭素固定に関する一連の先進的な研究」</p> <p>* 工学会学会賞(平成 23 年度) 「地球環境を中心とした学際的俯瞰的化学工学研究」</p> <p><研究歴>固定化酵素、膜反応器、湿式精錬、抽出、膜分離、乾燥、石炭・バイオマスや廃棄物のガス化、燃焼およびその環境影響、流動層(高速・循環・微粉、ジェット)を中心とした固体ハンドリング装置、多結晶シリコン等の粉体材料製造、砂漠化・塩類化とその防止、触媒反応および水素分離、地球規模でのエネルギー利用と CO2 問題対策、(含む:エネルギー評価および炭素固定のための乾燥地植林)、有害物質の無害化、廃棄物処理、土壌汚染防止</p> |
| その他 | 困ったことがありましたらなんでもご相談ください。 |